

平成13年5月30日

第3次太平洋知的対話ミッションのパプアニューギニア、バヌアツへの 派遣について

1. わが国政府は、第3次太平洋知的対話ミッションを6月3日（日）から6月9日（土）まで、パプアニューギニアおよびバヌアツに派遣する。
2. このミッションは、渥美千尋外務省アジア大洋州局外務参事官を団長とし、岩政輝男琉球大学医学部長、高橋康昌前橋国際大学教授および外務省、文部省の関係者が同行する。
3. このミッションは、パプアニューギニアおよびバヌアツにおいて、政府首脳、教育関係者および文化関係者と意見交換し、太平洋島嶼国とわが国の歴史的・文化的繋がりを再確認し、相互理解および地球的規模の問題に対応した「太平洋フロンティア外交」の柱である人材育成を知的・文化的交流を通じて協力する方途を探る。
4. このミッションは、昨年4月に、宮崎で開催された「太平洋・島サミット」において、森喜朗総理大臣（当時）が「日本と太平洋諸島フォーラム（PIF）との間のパートナーシップの強化」のために、政治・経済面に止まらない「心と心のふれあい」の重要性を強調され、特に日本と太平洋島嶼国の知的交流や文化交流の促進を目的とした「太平洋知的対話ミッションの派遣」を提案されたことに基づくものである。なお、本件ミッションは、昨年11月にパラオ、ミクロネシアおよびマーシャルに派遣された第1次ミッション並びに本年3月にフィジー、トンガおよびサモアに派遣された第2次ミッションに続いて派遣されるものである。